

「大阪都構想」についての吉村知事、松井市長の主張が理解 不能なのですか？」

令和2年10月14日

●塾講師 A さんからの質問

さて、報道によれば、「大阪都構想」の住民投票がまた行われるとのこと。一事不再理という言葉もありますが、何か事情が大きく変化してのでもない限り、まるで「通るまでチャレンジする」かのような大阪維新の姿勢については、大きな疑問があります。念のため、吉村府知事や松井市長の主張を一部聞いてみましたが、どうにも理解不能でした。彼らの主張の中で、特に気になったのは、次の2点です。まず、まるで「東京の経済発展の理由を東京23区（特別区）に求める」ような主張です。東京特別区の成立は東条内閣下の戦時体制であって、これが偶然にも東京の経済発展に寄与したようには、私には思えません。2点目で気になるのは、吉村さんと松井さんの体制を「バーチャル都構想」とおっしゃっていることです。「(府知事と市長で)考え方が異なると、無駄が増える、非効率だ」とおっしゃりたいようですが、その主張を突き詰めると、民主主義の否定に繋がると私は思います。全国を見渡しても、「知事は保守だけれども、市町村長は革新」ということはざらにあることであり、その逆も然りです。国政レベルでも、衆参のねじれということは、時々あるわけです。いずれも民意であるわけですから、それを「無駄だ、非効率だ」と言ってしまうのは、如何なものでしょうか。西田先生のお考えをお聞かせいただければ幸いです。

●西田昌司の答え

今の東京都はかつての東京府であり、その中に東京市がありました。戦時中の昭和18年、東京市の自治権を抑えるために東京市は23の特別区とされて、東京府は東京都に名称が変わりました。当時の東京府知事は内務官僚が

務めていましたし、国が都道府県を直轄する戦時体制が敷かれていました。住民の意見は政治に反映されずに、民主主義が否定された時代でしたが、その象徴が東京 23 区です。

東京 23 区は特別区であり、自治権が非常に小さい自治体です。大阪市や京都市といった政令指定都市よりも自治権が限られているのはもちろんのこと、一般の市町村よりも自治権がありません。戦後、東京がどんどん栄えて、かつては日本の中心であった大阪は大きく水をあげられましたが、その理由は東京のインフラが整備されたために東京に民間の企業が集まって投資がなされたからですし、戦後の東京への一極集中は東京 23 区という特別区を作ったからではありません。

東京都という名前から ^{みやこ}都 を連想しますし、大阪市も東京 23 区のように特別区とすれば東京と同じように発展すると大阪維新は考えているようですが、全くの勘違いです。

もともとは大阪に本社があった会社（住友グループ等）が東京に本社を構えるようになり、一極集中が加速しましたが、これは国レベルの都市開発計画のまずさを物語っています。東京には放射状の新幹線ネットワークがありますが大阪にはありませんし、バブル崩壊後、国が緊縮財政をやり始めて近畿圏では大きなインフラ整備がされなくなりました。

現在、大阪府と大阪市ともに維新勢力が議会の過半数を抑えていますし、大阪府知事の吉村さんと大阪市長の松井さんがタッグを組めば、大阪都構想などをやらなくても何でもできるはずです。5 年前の住民投票で否決された大阪都構想を今回蒸し返すのは一時不再議の観点からしておかしいのですが、これも維新勢力が強いからこそできるのです。

5 年前の住民投票時、公明党は反対の立場でしたが、今回は賛成に回っています。大阪都構想に賛成をしないと選挙区に刺客を送ると脅されての寝返りでしたが、そこまでして制度を変えなくとも大阪維新は今でも何でもでき

るのです。

松井さんは、今回の住民投票が否決されたら引退すると発言されていますが、否決されたら大阪市長の座にそのまま居続ければよいのですし、逆に可決されたら大阪市が廃止されて大阪市長の座がなくなるのです。松井さんの発言は全く訳がわかりませんが、松井さんの発言のみならず今回の住民投票は全てが矛盾だらけです。

大阪市民の皆様におかれましては、もうこの辺りで維新の詐欺話に気付いてもらいたいものです。大阪市をなくすことの意味をもっとしっかりと考えてください。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>